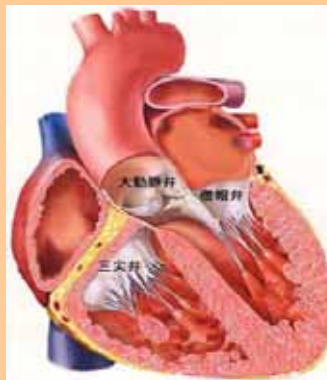


リハビリテーションセンター便り

～心臓編～

第1回目 ～心臓についてのお話～

たまに、胸が“ドキって”したこと・ありませんか？

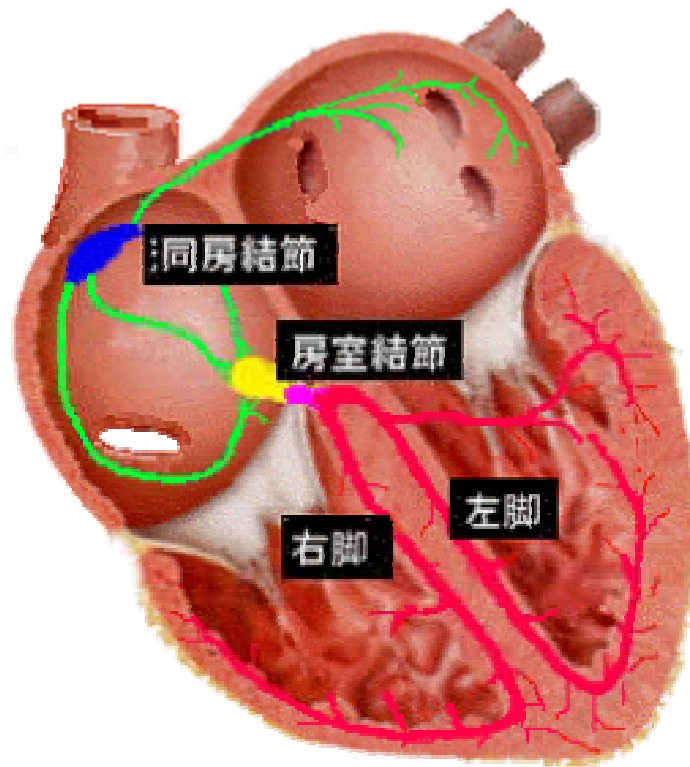


車に例えると、いわばエンジン部分の役目になる心臓は、全身の血液を隅々まで送っている“ポンプの役割”をしています。このどこかが、悪くなってしまうとさまざまな病気を引き起こしてしまうのです。

今回は、基本的なメカニズムとよく遭遇する不整脈についてご紹介いたします。

『心臓はどのように出来ているの？』

心臓は4つの部屋をもち、各々右と左に分かれ、左右の部屋は、さらに心房と心室に分かれています。



心臓の大きさは、成人男子で約 250g (拳一個分)

1 回の収縮で、40-100ml (平均 60ml)

3 - 5 ㊦/分 (平均 4 ㊦/分)

運動時には、1 回の収縮で、150-200ml

10 - 30 ㊦/分以上になります。

『大きな乾電池とおなじ仕組み・・・』

巨大なモーターを回すために、何か“きっかけ”が必要です。その「きっかけ = 刺激」事を**刺激伝導系**と言われるもので、右心房のやや上にある“**洞房結節**”というところから刺激が発生します。この洞房結節から**房室結節**というところを通過して、さらに**左脚・右脚**へ分かれ、心臓の先端部まで刺激が伝導していくことで、心臓は常に動き続けることが出来るのです。この電気の流れが、何らかの原因で障害されてしまうことを“不整脈”といいます。

『不整脈とは・・・』

主症状：**動悸・息切れ・めまい・無症状・胸部不快・胸痛**

『不整脈の原因として』

基礎心疾患（虚血性心疾患・弁膜症心筋症 etc）

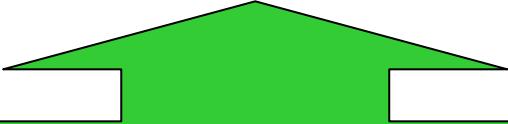
呼吸器疾患（慢性閉塞性呼吸器疾患 etc）

内分泌疾患（甲状腺機能亢進症 etc）

高血圧

ストレス

食生活



このような症状がみられましたら当院循環器内科へお尋ねください